

エリスロポエチン（造血ホルモン）の投与時期について（2007/2/20）

#.8

Name:	〇〇ちゃん	Age:	18歳	■投与開始時の BUN/CRE	70 / 4.7
■薬剤名			■投与时猫体重		
			2.6kg		

■開始年月日～終了年月日（投与回数／量） PCV／HCT の変化	
2006.1～2006.1	（週 3 回／ ） 12.0%→
■抗体について：	
わからない	
■他の貧血対策：	
ペットクリニック（朝・晩）、注射の通院中に一度輸血を行いました。	

■飼い主さんの感想

3年以上慢性腎不全を発病していたのですが、2007年の1月にPCVが20を切るようになり獣医さんからEPO注射のお話を頂きました。

通常15をきってから使用を考えるとのお話でしたので12になった日に注射を始めました。量は初めに1瓶購入し、計5回に分けて注射しました。説明によるとエリスロポエチンの注射は抗体ができる恐れがあると同時に、ネコちゃん本来のエリスロポエチンを傷つけてしまう恐れもあるそうです。注射の通院中に一度輸血を行なったためどこまでEPO注射が効いたのかはわからずじまいです。

《じいや補足》

15%を切ってから使えばどうか？と提案される飼い主さんは多いようです。デブちゃんも複数の病院からそう言われました。おそらくそれぐらいまでなら、ゆるゆると下がる貧血ならば見た目には元気さを保てると考えている獣医さんが多いからでしょう。

輸血も経験されていますが、輸血自体を行っていない病院も多くありますので、前もって自分の主治医に聞いておくと安心かも知れません。

〇〇ちゃんは3年もの間、いい状態を維持できたのですから本当に飼い主さんには頭が下がります。